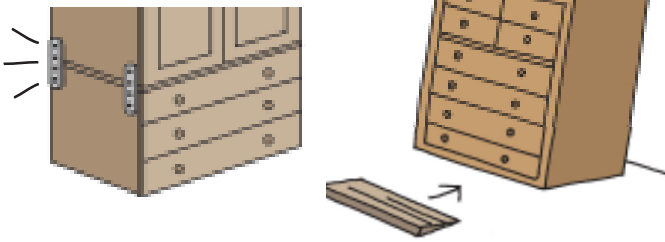


# こうすれば家具は固定できる

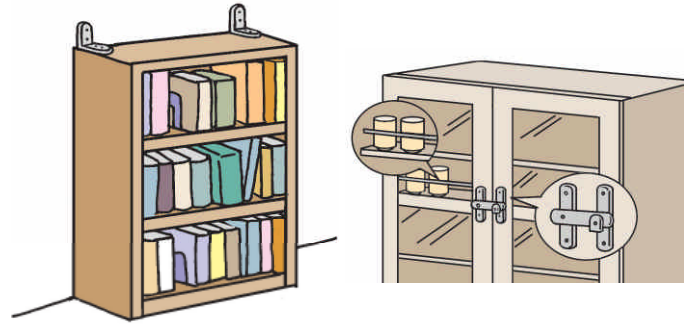
## タンス等

- つっぱり棒を使うときは、天井が十分強固であることを確認。
- じゅうたんや畳の上の家具は倒れやすい。できるだけ別の部屋に移すか、下に板をしく。
- 傷をつけたくない家具やネジ止めができない家具を固定する場合、天板の上にもう一枚板を置き、この板に金具を取り付ける。



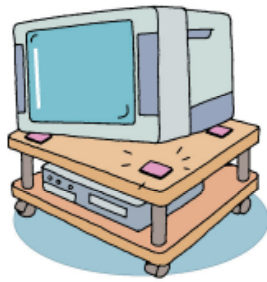
## 食器棚・本棚等

- 本棚には重たい本は下段に入れ、できるだけ隙間をなくす。
- ガラス面には飛散防止フィルムを。
- 棚板にふきんをしくとすべり止めに。
- 棚の上の荷物は落ちてくるのでできるだけ置かない。



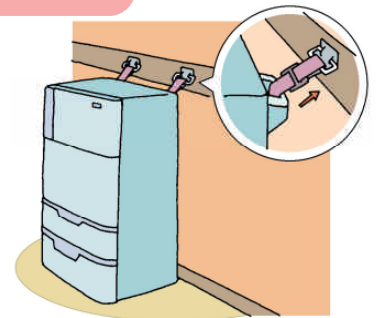
## テレビ、パソコン等

- 高い場所に置かないようにします。
- 樹脂製の免震シートは耐荷重と耐用年数を確認。極端に重たい物への使用には要注意。



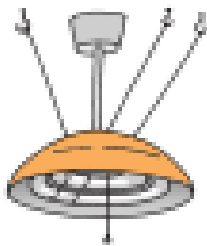
## 冷蔵庫

- 扉が開いて中のものが飛び出さないように開き止め金具を。
- 固定は裏の取手と壁をつなぐ（専用の器具のあるものもある）か、扉と扉の間にワイヤーを通して壁と固定。



## 照明

- 蛍光灯は両端を耐熱テープで止める。
- 吊り下げ型は、ワイヤーやチェーンで天井と数箇所固定。



## ピアノ

- 脚にはすべり止め、本体には傷がつかないようにビニールでコートされたワイヤーやテープを巻くなどしたワイヤーで壁と固定。

## エアコン・壁掛け時計・額

- L字金具やフックで壁と固定します。

## 壁の下地を確認

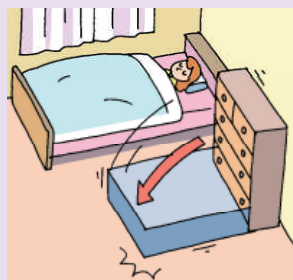
- ヒートンとワイヤー・チェーンまたはL字金具で家具を壁に固定するときは、柱、鴨居、壁の中柱・中棧にネジがくるようにします。
- 石膏ボードでは十分に固定できないことがあります。

## 家具の配置も工夫しましょう。

- 寝室には家具を置かない
- 特に高齢者や子どもの部屋には大きな家具を置かない



- 家具が倒れやすい方向には寝ない



- 出入口付近には物を置かない
- 家具は倒れても逃げ道をふさがないように置く

